

2020

発行日 毎月1日 通算発行 416号

12



協会報

今月のトピックス

令和2年秋の叙勲

(一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介

県選出国會議員に対する要望活動

令和2年度市町要望活動



《石川の工芸シリーズ③》

石川県立美術館蔵

あかえつば
赤絵壺「かざはな」

ふくしま ぶざん
福島 武山【昭和19(1944)年一】

制作年/平成13(2001)年 サイズ/口径10.5×胴径30.7×高さ27.4cm 技法/赤絵細描(あかえさいびょう)
福島武山氏は、幕末から明治にかけて盛行したものの一時衰退した九谷焼の赤絵技法を復興させ、赤絵細描として現代へ蘇らせた第一人者である。本作品は細かく精緻な小紋の曲線と直線の構成によって、半円を4つ組み合わせた風車にも、石畳模様にも見える意匠が見事である。

※赤絵細描…赤い陶絵具を使い、極細の線で小紋・花鳥・風月・人物などを描き上げる技法

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 12



◀石川の工芸シリーズ③③▶
あかえつぼ
赤絵壺「かざはな」
福島 武山(ふくしま ぶざん)

1 今月のトピックス	
令和2年秋の叙勲 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介	2
県選出国會議員に対する要望活動	2
令和2年度市町要望活動	4
2 最近の完成工事から	
石川県の観光地や海岸線を自転車で巡ろう ～いしかわり山里海サイクリングルート～	
石川県土木部道路整備課	6
3 令和2年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰の紹介	8
4 雇用改善コーナー	
金沢市立工業高校生との意見交換会の開催	10
5 県内建設企業の財務内容の特徴	
～『建設業の財務統計指標 令和元年度決算分析』より～	
東日本建設業保証(株) 石川支店	11
6 地区協会コーナー	
2018年 南加賀地域唯一の4年制大学「公立小松大学」が開学	
(一社)小松能美建設業協会	12
7 会員リレーコーナー	
加賀工建株式会社	13
8 今月の「輝き!」さん No.69	
島屋建設株式会社 東出眞太郎さん	14
9 会員企業の取り組み紹介	
土木広報大賞で優秀賞を受賞 ～(株)江口組の広報ガール CHIKACO 姉さんこと庄源知加子さんが優秀賞を受賞～	
株式会社江口組	15
10 協会だより	
委員会の開催	16
土木委員会	
工事現地検討会の実施	16
建築委員会	
環境・住宅部会研修会の開催	16
能登地域合同建築委員会の開催	17
土地改良委員会	
農林水産部長等への施策提案	18
現場研修会の開催	18
広報・研修委員会	
企画部会の開催	19
令和2年度「ドローン講習会」開催結果	19
建設技術研修所	
第2回登録解体工事講習会の開催	20
「建設業経営講習会」の開催	21
第42回測量コンテストの競技結果及び表彰式の開催	
～地区協会対抗は(一社)金沢建設業協会が優勝、企業対抗は(株)北陸工建が優勝～	21
11 石川県土木施工管理技士会だより	
第3回正副会長会議の開催	22
12 国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
令和2年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
「建設業界での成長」 株式会社金沢舗道 中杉光稀	23
「建設業に携わる」 兼六建設株式会社 九澤省伍	24
13 業界時報	
労働災害発生状況	25
令和2年度 建設工事受注高調(元請)	25
14 会員の異動	26
15 県協会からのお知らせ	26
16 地区協会からのお知らせ	26
17 関係機関からのお知らせ	
石川労働局より 労働保険に加入していますか?	27
建退共より 共済手帳の更新手続きが一部変わります!	28

◆ 今月のトピックス ◆

令和2年秋の叙勲 (一社)石川県建設業協会関係受章者の紹介

令和2年秋の叙勲で、(一社)石川県建設業協会理事・相談役(元会長)北川義信氏(北川ビューテック(株)代表取締役会長)が、旭日中綬章を受章されました。

北川氏は、長年にわたり建設業に携わり、(一社)全国建設業協会副会長、(一社)石川県建設業協会会長を歴任するなど、建設業界の要職にあって組織の育成や強化に尽力されました。

伝達式は、11月19日(木)午前10時30分から、金沢ニューグランドホテルで行われ、谷本正憲知事から旭日中綬章が伝達されました。



県選出国會議員に対する要望活動

(一社)石川県建設業協会(会長 平櫻 保)は、11月11日(水)、東京で石川県選出の自民党国会議員に対し、防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進等4項目を要望した。

平櫻会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、山岸 勇専務理事、五天秀行事務局長の5名が、首相官邸で岡田直樹内閣官房副長官・参議院議員と面会し要望書を提出した。その後、改めて岡田副長官、馳浩衆議院議員、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、山田修路参議院議員の各国会議員と面会し要望書を手渡した。要望の中で、今年度で終了する国の防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策については、来年度以降も継続し必要な予算額が計上されるよう要望するとともに、補正予算及び来年度当初予算に必要な公共事業予算が持続的・安定的に盛り込まれるよう求めた。要望に対し岡田副長官は、「骨太の方針の中に、国土強靱化対策は国の重大な責務と明記されており、しっかりと取り組んでいかなければならない」と述べられ、他の議員からも、「今年度3次補正で三つの柱の一つに位置付けられていることから、来年度当初予算で必要な予算額が確保できるよう、国会で取り組んでいくべき」との力強いお言

葉を頂いた。

なお、同日、国土交通省に吉岡幹夫道路局長（前北陸地方整備局長）を訪ね、同様の要望を行った。

要望事項は下記のとおり。

【要望事項】

- 1 公共事業予算の継続的・安定的な確保
- 2 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 3 地元建設業者の受注機会の確保
- 4 改正担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施



岡田内閣官房副長官への要望



県選出自民党国会議員への要望

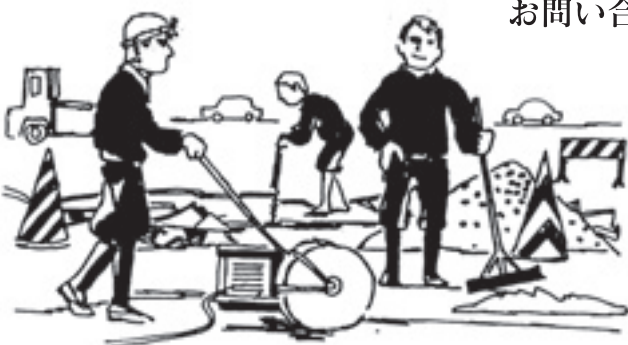


吉岡道路局長への要望

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・・・・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7787

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20
中屋三井ビル2F

令和2年度市町要望活動

県協会は、地区協会と合同で市長、町長へ要望活動を行いました。11月9日にかほく地区、11月16日、17日に能登地区、11月20日、24日に加賀地区と延べ5日間にわたり、18の市町に対して業界の実情を訴えるとともに、直面する課題などについて意見交換を行いました。(日程表参照)

県協会からは平櫻会長、江口副会長、中市副会長と山岸専務理事、各地区協会からは会長、副会長、理事の方々に参加し、市町の首長または副市町長、及び関係部課長に要望書を提出致しました。

要望の主な内容は、

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保
2. 国土強靱化地域計画の事業推進
3. 地元建設業者の受注機会の確保
4. 新・担い手3法に基づいた適正な入札契約の執行
5. 情報共有システムの積極的な活用
6. 除雪体制を維持するための支援拡充

など上記6項目。

要望に際して、全国的に自然災害が多発、激甚化している中、住民の生活を守るために地域建設業が「地域の守り手」として活動していることへのお礼をいただくとともに、今冬の除雪対応についても協力のお願がありました。

すべての首長から「防災・減災、国土強靱化のための3ヵ年緊急対策」について、地域住民の安全・安心を守るためにも、来年度以降も継続して必要な予算額が確保されるよう、市長会や町長会など様々な活動を通して財務省や国土交通省等関係機関へ強く要望をされているお話をいただきました。

また、公共事業についても、今般のコロナ禍の厳しい財政状況の中でも、しっかりとした予算を確保し計画的に取り組む旨のご回答をいただき、平櫻会長からは、公共事業の推進に向けて建設業界は十分な施工余力を持っており、地域は地域自らの手で守るためにも、協会としてしっかりと対応する旨お伝えしました。

さらに、地元建設業者の受注機会の確保、新・担い手3法の適正な執行などについてもご理解をいただくとともに、除雪体制を維持するための支援拡充の要望に対して、市町からは積極的に取り組みを進めており、除雪オペレーターの技術向上についても今後、とても大切な課題になるとの見解をいただきました。

最後に、行政と建設業界が一体となって公共事業の推進に向けた取り組みを進めていこうとの力強い発言をいただき、改めて、「地域の守り手」としての使命・役割を認識するとともに、引き続き、協会としても石川のインフラ建設と維持管理の両面から取り組みを進めていきたいと思っております。

○日程

11月9日(月)

かほく市
内灘町
津幡町

11月16日(月)

穴水町
輪島市
珠洲市
能登町

11月17日(火)

七尾市
中能登町
志賀町
宝達志水町
羽咋市

11月20日(金)

白山市
小松市
川北町
加賀市

11月24日(火)

野々市市
能美市



宮元加賀市長へ要望



井出能美市長へ要望



山田白山市長へ要望



粟野々市市長へ要望



油野かほく市長へ要望



矢田津幡町町長へ要望



杉本中能登町町長へ要望



岸羽昨市長へ要望



持本能登町町長へ要望



泉谷珠洲市長へ要望

最近の完成工事から

石川県の観光地や海岸線を自転車で巡ろう ～いしかわ里山里海サイクリングルート～

石川県土木部道路整備課

1 はじめに

本県では、豊かな自然、美しい里山里海の景観等を活かして、観光振興・地域活性化を図るため、平成28年度からサイクリング環境の整備に取り組んでいる。

整備にあたっては、学識経験者や観光協会、サイクリング協会、県、市町などで構成する「いしかわ里山里海サイクリングルート利用促進協議会」を発足し、サイクリングルートの設定や利用促進施策の検討を行っており、既存の自転車道や国・県・市町が管理する道路を活用しながら、加賀から能登までの観光地や海岸線を巡る全7ルートを設定している。

一方、平成29年の自転車活用推進法施行を受け、翌年には、国の自転車活用推進計画が閣議決定され、自転車の活用による環境負荷の低減や健康増進などが図られることとなった。この自転車活用推進計画の目標には、サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現が設定されており、全国的にサイクルツーリズムの取り組みが活発となっている。

本県においても、今年度、自転車活用推進計画を策定し、サイクリングルートを活用してサイクルツーリズムの推進を図っているところである。



図-1 サイクリングルート位置図

2 これまでの取り組み

本県のサイクリングルートの利用促進を図る取り組みについては、サイクリストの受け入れ体制を整えるため、トイレの貸し出しや道案内・軽微な故障に対応するための工具などを提供する施設を、サポート施設として、ルート沿線に72箇所配置しているほか、利用者がルートを行けるよう、ルートを案内する路面標示を1km間隔で設置している。

また、平成29年には(株)モンベルが運営する「ジャパンエコトラック」に登録し、公式ホームページでPRするとともに、モンベルショップにルートマップを配置したほか、サイクリングルート周辺の観光地を巡るプロモーション動画の配信も行っている。更に、サポート施設に設置したチェックポイントを巡る「スタンプラリー」や、サイクリングを楽しんでいる写真をInstagramに投稿する「フォトコンテスト」なども実施しており、いずれも参加者には、抽選で地元特産品を贈呈している。

令和元年度には、訪日外国人の増加を背景に、英語版のルートマップを作成し、国内外のモンベル店舗、空港、観光案内所などへの配置や、海外旅行代理店への配布も行っているほか、外国人に本県の魅力を分かり易く伝えるための、英語版プロモーション動画や、英語版ホームページの作成も行い、訪日外国人向けのPRにも努めている。



写真-1 サポート施設



写真-2 路面標示



写真-3 スタンプラリー等チラシ



写真-4 プロモーション動画



写真-5 ルートマップ配布状況

3 令和2年度の取り組み

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、サイクリングルートの利用減少が懸念されたが、これまでの情報発信に加え、HPやSNSに「他の人との距離を確保する」など新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を行ったほか、市町広報誌を活用したPR、石川県サイクリング協会と協力した自転車店でのPR等の実施により、「スタンプラリー」や「フォトコンテスト」の利用者数は、昨年度を上回る結果となった。

4 おわりに

今年度の「スタンプラリー」や「フォトコンテスト」の期間は終了したが、来年度も同様の取り組みを実施予定であり、協会員の皆様にも是非参加して頂き、本県のサイクリングルートを体験して頂きたい。今後とも、サイクリングルートの魅力向上を図るため、アンケート調査などを通して利用者のニーズを把握しながら、安全・安心・快適にサイクリングを楽しめる環境の整備に努めてまいりたい。

<<http://www.pref.ishikawa.jp/michi/cycling/cycling-web/cycling.html>>

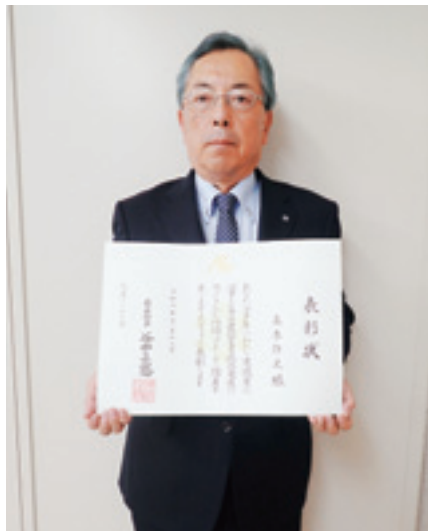
令和2年度「優良建設功労者」・「優良建設工事」知事表彰の紹介

令和2年度国土と交通等に関する知事表彰が、11月13日(金)午前10時から石川県庁において行われ、建設関係者から多くの個人・団体・企業が表彰されました。(一社)石川県建設業協会関係の優良建設功労者及び優良建設工事をここにご紹介し、その功労に敬意を表します。

【優良建設功労者】



表 守活氏
株式会社表組
代表取締役社長



高木作之氏
昭和建設株式会社
代表取締役社長



上出清孝氏
株式会社上出組
代表取締役社長

【優良建設工事】

【土木部発注分（会社名及び工事名）】

1 株式会社戸田組

30災203号 主要地方道 七尾能登島公園線 道路災害復旧工事

2 真柄・石川特定建設工事共同企業体

主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築4類工事（手取川橋梁 P2橋脚工）

3 日豊・大栄特定建設工事共同企業体

石川県水道用水供給事業 2号洗浄水槽築造工事（本体工）

4 真柄・荒木特定建設工事共同企業体

金沢外環状道路 海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事（浅野川橋梁 山側 P6橋脚工）

5 小倉建設株式会社

主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事（寺家高架橋 A1橋台工）

- 6 加賀・石川特定建設工事共同企業体
都市計画道路 鳴和三日市線 街路整備（防災・安全）工事（中島大橋 A1橋台工）
- 7 株式会社江口組
主要地方道 金沢美川小松線 地方道改築4類工事（手取川橋梁 A1橋台工）
- 8 日本海・駒津特定建設工事共同企業体
都市計画道路 鳴和三日市線 街路整備（防災・安全）工事（中島大橋 A2橋台工）
- 9 池田建設工業株式会社
二級河川米町川 広域河川改修工事（築堤8工区）
- 10 長坂・川元特定建設工事共同企業体
東京国立近代美術館工芸館移転整備工事（旧陸軍第九師団司令部庁舎）
- 11 北川ヒューテック株式会社
主要地方道 金沢田鶴浜線 地方道改築工事（舗装1工区）

【農林水産部発注分（会社名及び工事名）】

- 1 株式会社ヨネミツ
令和元年度 県営かんがい排水事業 中村用水第2三期地区 水路工事
- 2 南建設株式会社
平成30年度 老朽ため池整備事業 猪の谷第3地区 ため池工事
- 3 株式会社丸西組
令和元年度 基幹水利施設予防保全対策事業 南加賀地区 九龍橋川工区 排水路工事
- 4 株式会社麴香重機建設
令和元年度 基幹水利施設予防保全対策事業 森地区 用水路工事



雇用改善コーナー

金沢市立工業高校生との意見交換会の開催

(一社)金沢建設業協会青年委員会(委員長 梅谷基樹)は11月27日(金)に金沢市立工業高等学校を訪問し、同校建築科生徒との意見交換会を開催した。

同校建築科の2年生40名と、青年委員会のメンバーや協会会員企業の社員が参加した。

冒頭、梅谷青年委員長より、「今回は初めての試みとして、会員企業で働く女性6名に参加して頂いた。就職への不安や疑問に思っていることを私達にぶつけてほしい。そして将来は、是非地元で建設業に入職して頂きたい。」と挨拶した。



続いて、同校の卒業生でみづほ工業株式会社の新谷涼介氏が「仕事について」と題し、建設現場における現場監督の仕事内容や現場監督という仕事の魅力について紹介した。

その後、男子生徒4グループ、女子生徒3グループに分かれ、情報発信セクションのメンバーとグループごとに意見交換を行った。女子グループには、県協会の女性部会のメンバーも同席し、設計や現場監督、営業などそれぞれの立場から生徒の質問に答えるとともに、自身の体験に基づくアドバイスを送った。

最後に、各班代表の生徒が意見交換会の感想を発表し閉会となった。

令和2年 ~交通マナーアップいしかわ~

年末の交通安全県民運動

期間 12月11日(金)~12月20日(日)

運動の重点

- ◆ 高齢者の交通事故防止(北陸三県統一重点)
- ◆ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- ◆ 飲酒運転等の危険運転の防止
- ◆ 冬道での安全走行の徹底
- ◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

石川県・石川県交通安全推進協議会
お問い合わせ/石川県生活環境部生活安全課(電話076-225-1387)

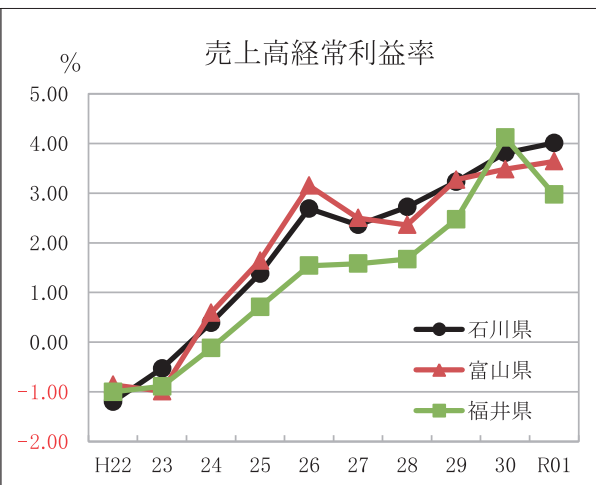
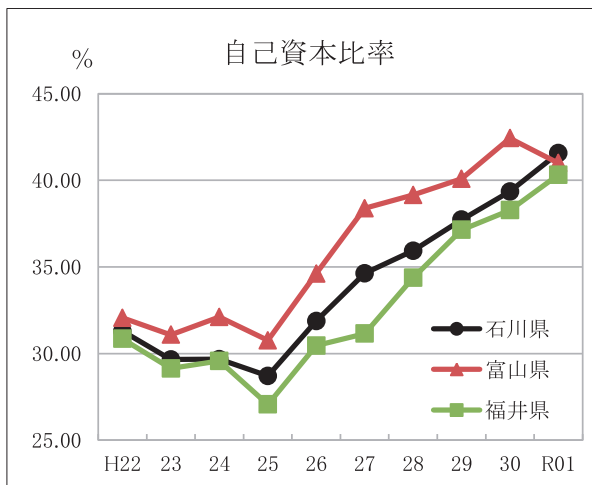
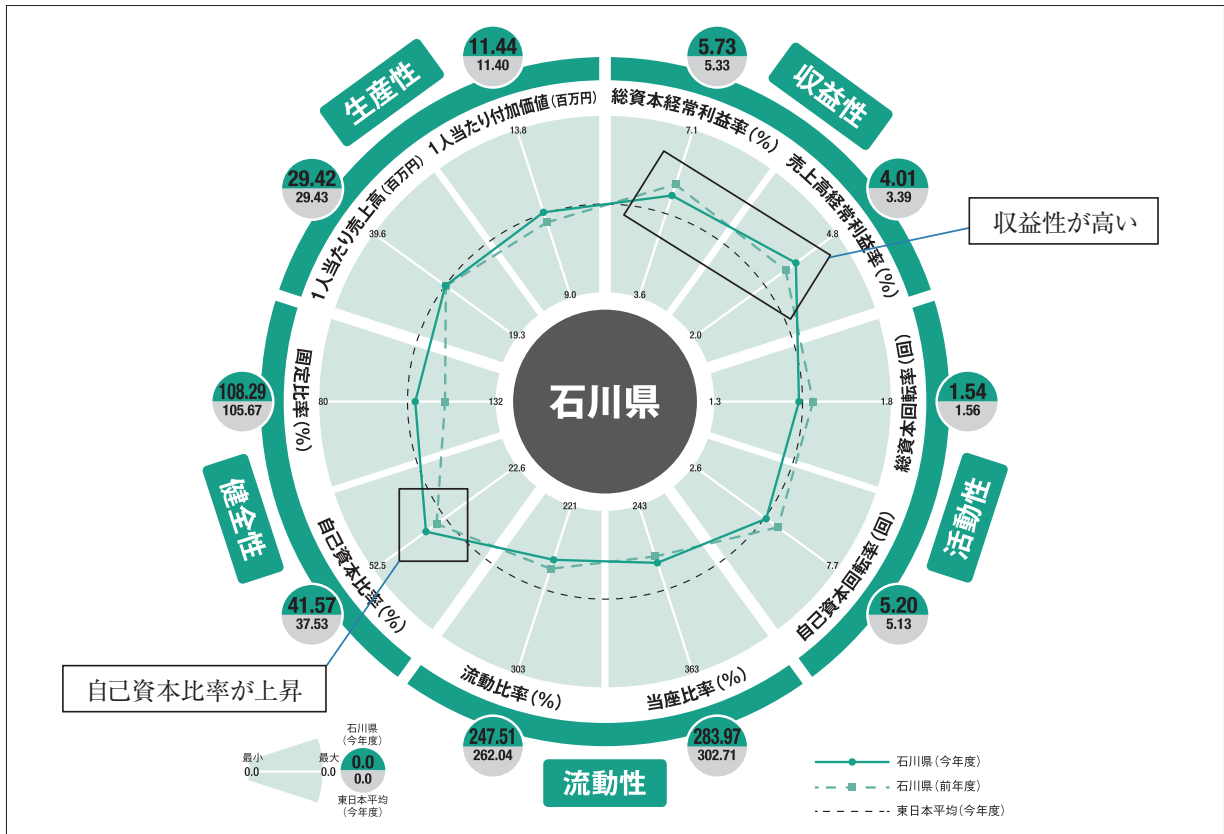
県内建設企業の財務内容の特徴

～『建設業の財務統計指標 令和元年度決算分析』より～

東日本建設業保証(株) 石川支店

【令和元年度の特徴】

- ・企業の収益力を総合的に表す「総資本経常利益率」、「売上高経常利益率」が東日本平均を上回っています。
- ・総資本に対する自己資本の割合を表し、企業資本の調達源泉の健全性、資本蓄積の度合いを表す「自己資本比率」は、前年度より2.22ポイント上昇し、41.57%となっています。



出典：東日本建設業保証『建設業の財務統計指標』 <https://www.ejcs.co.jp/report/indicators.html>

注)『建設業の財務統計指標』は、東日本建設業保証(株)へ提出された決算書により、売上高別、地区別・都県別に経営指標をまとめたものです。令和元年度の石川県内の集計企業数は683社です。

地区協会コーナー

2018年 南加賀地域唯一の4年制大学 「公立小松大学」が開学

(一社)小松能美建設業協会

少子高齢化、グローバル化、技術革新など、私たちを取り巻く社会や環境はめまぐるしく変化しています。

公立小松大学は、そのような急速に変化する社会のニーズに的確に応えていくための人材育成の場として、2018年4月に小松市で開学しました。

小松短期大学とこまつ看護学校の流れを汲む、「生産システム科学部生産システム科学科」、「保健医療学部看護学科・臨床工学科」、「国際文化交流学部国際文化交流学科」の3学部4学科からなります。

4年間の教育課程の中で、高度な専門知識・能力だけでなく、変化に富む現代社会において活躍するための基盤となる豊かな教養と多角的な視野で物事を捉える力を涵養します。

また、様々な人々との出会いや交流を通して、豊かな人間性と人とかかわりながら仕事を進める能力を育み、地域 (Local) と世界 (Global) の将来を見据え活躍できるグローバル (Glocal) 人材を育成します。

コロナ禍においても安全に教育活動を行うため、2020年4月下旬には全学部学科でオンライン授業をスタートしました。後期からは対面授業を再開し、キャンパスの中に再び学生達の元気な笑顔が溢れるようになりました。

各学部の教育研究内容に則し、小松市内に3つのキャンパスがあります。

中央キャンパスは、JR小松駅前の複合ビル「こまつアズスクエア」の2・3階にあり、共通教育や国際文化交流学部の専門教育を学ぶ場となっています。



末広キャンパスは、小松市民病院の西側にあり、保健医療学部の専門教育を学ぶ場となっています。



粟津キャンパスは、JR粟津駅の近くに位置し、生産システム科学部の専門教育を学ぶ場となっています。

生産システム科学部	定員80人
保健医療学部	定員80人
国際文化交流学部	定員80人



会員リレーコーナー

②04 加賀工建株式会社
(所在地：石川県小松市錦町1)



社章

弊社の創業は、加賀建設工業として、前回の東京オリンピックが開催された1964年に遡ります。1970年の法人化に伴い、加賀工建株式会社に改称し現在に至ります。

高度成長時代には、温泉旅館などの民間工事から公共工事、県外工事と幾多もの建築工事を手掛け、実績を積んで参りました。

建築物は、その世代の背景、固有のニーズがあり、同じものを手掛けることはなく、様々な試行錯誤がありました。そうした経験は、時代が変遷しても会社と社員の技術力として常に引き継がれ、変化にも柔軟に対応できる地力となっていると思われます。

現在では、人材不足の中、経験を積んだ40代の中堅社員が現場監督の半数以上を占め活躍しています。社内ミーティングでは、社訓である「誠意を尽くして仕事に取り組む」「和をもって団結力とする」ことを唱和し、社員の技術、意識の共有、会社としての共有を図っています。

弊社では、ありがたいことに、以前お付き合いのあった顧客からのご依頼も多く、そのような引き続きのご縁を大切にしていくなためにも、許可業種の追加、産業廃棄物収集業、人材派遣業の登録等に積極的に取り組んで参りました。やはり、弊



社屋

社を選んで良かったと思って頂けることが、会社と社員の喜びになり、また地域貢献になると考えているからです。

社員と会社が、社会情勢にも柔軟に対応できるよう日々邁進できるなら、社会の浮き沈みやマイナス成長、コロナ禍であろうとも、必要な行動を展開していくことができるのではないかと考えております。

激変の2020年も師走となり、来年はどのような一年になるのでしょうか。弊社はあと数年で創業60年を迎えます。その時、社会はどんな情勢になっているのでしょうか。日々新しい視野で取り組んでいきたいと思うところであります。

今回は株式会社澤木組 代表取締役社長 澤木啓祐さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひします。

(加賀工建株式会社 代表取締役社長 嘉藤達夫)

今月の「輝き！」さん

No. 69



島屋建設株式会社 東出眞太郎さん

所 属：金沢営業所 営業部主任
 経験年数：7年9ヶ月
 年 齢：26歳

金沢市増泉3丁目の島屋建設株式会社に、今月の輝きさんを訪ねました。

ー最初に、あなたの会社について教えてください。

私が勤務する島屋建設株式会社は、前身の島屋商店（明治27年創業）を経て昭和39年11月に設立されました。道路のアスファルト舗装をメインとし、セメント類や建築用化粧ブロック等の販売も手掛ける社員数五十数名の会社です。

私は、金沢営業所の営業部に所属しています。当社の関連会社として、道路標識や区画線の設置を行うマルセ化建(株)、アスファルト合材の製造等を行う大同開発(株)があります。

ー出身地、家族、入社の一動機等について教えてください。

私は金沢市の生まれで、実家で両親と弟の4人で暮らしています。平成25年3月に県立金沢商業高校総合情報ビジネス科を卒業しました。長男であり将来は実家を守っていかねばならないということもあり、金沢市内での就職を考えていましたが、先生のアドバイスもいただき、同年4月に今の会社に総合職として入社しました。

ー現在担当している仕事の内容について教えてください。

営業部主任として、官公庁や民間から発注される工事の入札業務を担当しています。今は、電子入札制度が導入されており、実際に官公庁に出向いての応札は少なくなりました。机上のパソコンで関係書類を作成のうえ入札するのですが、それぞれの工事の内容によって適正な積算をしなければ会社に大きな迷惑をかけることにもなります。開札時には毎回緊張しています。

ー入社後8年目になりますが心に残ることはありますか？

以前に関係した舗装工事の施主さんから、「丁寧できれいな仕事をありがとう」とねぎらいの言葉を頂いたことがあります。その一言が今も心に残っており、仕事を進めるうえでの原動力になっています。

ー仕事で苦労した経験は？

当社は、冬期間の主要道路の除雪も請け負っています。入社6年目の平成30年豪雪の際には、社員の出勤もままならない中、何とか出社して役所との連絡や現場の交通誘導、写真管理など、これまでに経験したことがない大雪の中で大変苦労しました。その後暖冬傾向にありますが、この貴重な経験を来るべき豪雪時の対応に活かしていきたいと思っています。

ー趣味、休日の過ごし方等について教えてください。

特にこれといった趣味はありませんが、休日は、好きな映画を見るなどしてリフレッシュしています。将来的に余裕が出てくればゴルフを始めたいと思っています。

ー最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は、2級土木施工管理技士の資格を取得することです。少しでも自分のスキルを高め、会社により貢献できればと思います。



けんせつ一番星☆

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

会員企業の取り組み紹介

土木広報大賞で優秀賞を受賞

～(株)江口組の広報ガール CHIKACO 姉さんこと庄源知加子さんが優秀賞を受賞～

株式会社江口組

常識を打ち破り、楽しいを発信するCHIKACO姉さんは土木の魅力を伝える 広報のお姉さん！

CHIKACO姉さんは江口組の広報のお姉さんです。

CHIKACO姉さんこと、わたくし庄源知加子は江口組の総務部で働いています。

この度「デミーとマツの土木広報大賞2020」キャラクター・グッズ部門で優秀賞を受賞致しました。全国から119件、名だたる顔ぶれの中から選ばれたことは大変光栄ですし、嬉しく思います。

2020年3月、コロナ禍で対面での採用活動が相次いで中止となりました。「どうしようか」と社内で悩んでいた時に、YouTubeで会社や工事現場のことを発信しようというアイデアが出て、社長が「それなら楽しく、面白く伝えよう！」と無茶振りをしたことからCHIKACO姉さんが誕生しました。

しかし他の建設会社さんのCMなどを見てもCHIKACO姉さんのように広報活動する会社はありません。私は「これはふざけている感じもするし、大丈夫ですか？」と心配で社長に聞きました。でも社長は「楽しいから大丈夫！」の一言だけでした。不安でしたが社長がそう言うならと収録が始まりました。

収録が始まると楽しいし、土木のことをほとんど知らない私ですが、現場レポートを通じて土木の魅力を感じることができて勉強になることばかりでした。

今では江口組のYouTubeチャンネルで3つの番組26本の動画が完成しました。そして沢山の方から「CHIKACO姉さん！YouTube見てるよ！」って声をかけられることが増え嬉しく思います。

そして何より、今年の8月に私の動画を見て江口組に入社を決めてくれた方がいたことが一番嬉しかったですし、来年4月に入社予定の方たちも私の動画をチェックしてくれているようで、やってよかったなと思っています！

CHIKACO姉さんは、社長の想い、会社の行事や現場、社員のこと、そして採用に関する発信をするという会社においてとても大切な役割を担っています。

この土木広報大賞を頂いたことで、これからは建設業全体のことを楽しく、カッコよく、そして可愛く土木の魅力を沢山の人に伝えていきたいですし、将来建設業で働きたいと思ってくれる若い人たちが増えてくれたら嬉しいです。



土木の魅力を一生懸命伝えています!!



これからもCHIKACO姉さんをよろしくお願いします。



CHIKACO姉さんの活躍は江口組公式YouTubeチャンネル「えぐチャンネル！」でご覧になれます。QRコードを読み込んで下さい。

協会だより

委員会の開催

土木委員会

◎工事現地検討会の実施

土木委員会施工対策部会（部会長 林 登良夫）は、去る11月6日（金）に南加賀地区、白山野々市地区、県央地区、中能登地区、奥能登地区で、県土木部所管工事を対象とした工事現地検討会を実施した。この現地検討会は当委員会の主要活動の一つで、工事施工中の現場を点検し、工事現場での設計上の課題や疑問点などについて、工事発注者である土木事務所の担当官、工事設計を担当した設計コンサルタントの技術者、工事施工者、地区協会員、土木委員会委員が一堂に会して意見交換会を行い、より良い社会資本整備を目指すことを目的に実施している。

今年度は、9月17日（木）開催の施工対策部会正副部会長会議、10月1日（木）開催の工事現地検討会班長会議で実施内容を計画し、関係機関との調整等により、県内5土木総合事務所管内で10件の工事を選定し、107名の参加により、それぞれの立場から工事点検結果（改善点等）について、意見交換会を実施した。

工事現地検討会の実施にあたっては、石川県各土木総合事務所、（一社）石川県建設コンサルタント協会、（一社）石川県測量設計業協会、工事担当の各社、各地区建設業協会の皆さんには大変なご協力を頂きました。また、各地区での調整や運営を担って頂いた各班長さんに改めてお礼申し上げます。



工事点検状況



意見交換会状況

建築委員会

◎環境・住宅部会研修会の開催

環境・住宅部会（部会長 山田外志雄）は、11月17日（火）に「大安禅寺と福井城山里口御門・御廊下橋」の視察研修を、部会員2名と建築委員6名、事務局1名の計9名の参加で開催した。

大安禅寺は、福井藩主の菩提寺で創建360年の臨済宗妙心寺派の古刹で、令和の大修理として、平成30年から令和11年までの長い歳月をかけて修復工事が行われている。施工は能美市の松浦建設で、現場監督の東野 晃氏の案内で見学させていただいた。山寺で境内も狭隘なため、素屋根をかけるために1スパン毎に組み立てた後、スライドして全体を組み上げたそうです。また、大安禅寺は、本堂をはじめとする伽藍一帯が国の重要文化財に指定されているため、地盤を乱す基礎を設置することは認められず、土嚢を並べた上に鉄板を敷き単管で特殊なクランプを用いて素屋根を組み上げ、水槽を並べて浮き上がり防止策を講じていました。現場は、本堂の解体工事中で屋根部分は瓦が下ろされ、タル木もはずされ、壁土も落とされているなど、本格的な調査を始める状態でした。深い軒先が下がるのを防ぐ巨大なハネ木や蓑甲部

分を納めるために根曲がりの母屋部材を使用するなど、当時の宮大工の知恵に驚かされました。内装は、禪宗寺院のためか内陣も外陣も竿ぶち天井と簡素な仕上げとなっております。現場見学後、副住職の計らいでお抹茶をいただいたうえ、お寺の由来や伽藍の隅々までご案内いただき、日ごろの生臭さを忘れ静寂な境地のひとつ時を過ごさせていただきました。

次に訪れた福井城では、平成30年に復元された山里口御門と御廊下橋を見学しました。山里口御門は、本丸の西側を守る枳形門であり、金沢城ではなまこ壁を使用している腰壁部分や屋根に笏谷石を使用していました。枳形は狭いが御廊下橋とつながる部分を土堀で囲んだ一種の2重枳形となっており、堅牢な守りを固めた門でした。御廊下橋は、藩主の住居である西三の丸から本丸へ渡るために設けられた橋で、殿様の姿を人目にさらさないように屋根、壁で囲われた総ヒノキ造り銅板葺きの珍しい橋でした。

その後、あまりの好天に誘われて、計画になかった加賀市山中温泉のコオロギ橋を視察しました。この橋は、鶴仙溪にかけられた長さ20m、幅4mの桁を支える方杖を2重に組んだ複方杖橋で、木造ながら3トンまでの自動車も通れる総ヒノキ造りの橋です。江戸時代からあった橋が老朽化したため、加賀市が木材集めから始めて2か年をかけて令和元年に架け替えたものです。

蒼天の空の下、紅・黄・緑に染められた木々に囲まれ絶好の行楽日和で、奇しくもユネスコの評価機関が日本の伝統建築修復の技を登録勧告した日の視察研修会となりました。



◎能登地域合同建築委員会の開催

建築委員会（委員長 真柄卓司）は、11月20日（金）に、（一社）鳳輪建設業協会にて、能登地域合同建築委員会を開催した。県土木部の畝本秀一参与、三谷浩二郎建築住宅課長、熊田康也営繕課長を迎えて、能登地区の各建設業協会の建築部会員（11名）と県建設業協会の役員（8名）の計22名による、意見交換会となった。



真柄委員長、畝本参与、鳳輪協会の高藤美雄建築委員長の挨拶の後、県より、今年度の建築住宅行政・営繕工事等について説明を受け、建築基準法の改正、耐震改修工事の補助制度、令和2年度の主な営繕工事、営繕工事における注意点等が明らかにされた。

引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の様な議題を提案した。

- 1) 建設キャリアアップシステムについて
- 2) 入札参加資格の地域拡大について
- 3) 県発注工事の計画通知について
- 4) 営繕工事で発注する製品の明示について
- 5) 電気・設備工事を分離する場合の工事区分の明示について
- 6) 働き方改革の対応について
- 7) 県発注の表彰対象について

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、岡昌弘副委員長の挨拶で閉会となった。

土地改良委員会

◎農林水産部長等への施策提案

土地改良委員会（委員長 岡田康晴）は、11月19日（木）に安田秀樹石川県農林水産部長、30日（月）に北陸農政局西北陸土地改良調査管理事務所長及び河北潟周辺農地防災事業所長へ「農業農村整備事業の推進に関する提案書」を手渡し、意見交換を行った。

岡田委員長の挨拶に続き、事務局より

- ・予算の持続的確保
- ・工事の受注機会の確保
- ・改正品確法に基づく発注者責務の徹底

の3点を要望するとともに、CSF（豚熱）の対策については、昨年に引き続き各農場ごとの防疫対策実施体制を整えていることを報告した。

提案内容については、農林水産部長並びに局事務所長・事業所長よりコメントを頂き、解決への方策について意見交換を行った。



農林水産部長への提案



西北陸土地改良調査管理事務所長への提案



河北潟周辺農地防災事業所長への提案

◎現場研修会の開催

土地改良委員会技術検討部会（部会長 小柳 誠）主催の現場研修会は、11月20日（金）に輪島市門前町千代で工事が進められている広域営農団地農道整備事業能登外浦4期地区橋梁工事の現場において、石川県農林水産部農業基盤課1名、奥能登農林総合事務所4名、千代橋工事作業所（請負会社）1名に、会員37名と事務局2名の計45名の参加により開催した。

当日は、門前ビューサンセットの会議室に集合し、午前中に



室内研修



橋脚地上部での工事概要説明



橋梁上部工での施工状況視察

室内研修を行い、午後に現場研修を行った。

室内研修では、奥能登農林総合事務所土地改良部長入田清一氏の挨拶の後、千代橋工事作業所長能島英明氏より「広域農道能登外浦4期地区千代工区橋梁工事について」と題し、各工程ごとの工事報告、安全・品質管理施工について説明を受けた。

次に県農業基盤課課長補佐川口宗平氏より、今後、農家が主体となって行う「ICT農業ブルドーザを使った水田の均平作業」の概要について説明を受けた。

午後の現場研修では、千代橋の橋脚地上部で工事の概要説明を受け、エレベータに乗り高さ37.5m上空にある橋梁上部工の実際の施工状況などを視察した。

広報・研修委員会

◎企画部会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）の企画部会は、11月19日（木）午前10時30分から、石川県建設総合センターにおいて開催した。冒頭、高田委員長の挨拶が行われた後、下記事項について審議・報告を行った。



1 協会報12月号及び新年号について

事務局から、協会報12月号及び令和3年新年号の編集計画が示され承認された。

2 研修所からのお知らせ

建設業経営講習会の開催結果について報告された。

3 その他

企画部会終了後、協会報、グループウェア、ホームページ等各種広報媒体を活用した広報力強化のための検討会（第2回）を開催した。

◎令和2年度「ドローン講習会」開催結果

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、ドローン講習会を6月～11月の期間で延べ15回開催した。当初は10回の予定としていたが、申込が殺到したことから5回の追加開催となった。当講習会はドローンの基礎知識から国土交通省への申請方法、飛行訓練に至る内容となっている。



座学ではドローンに関する法令や安全運航に関する注意点、国土交通省に申請する内容等について学んで頂き、飛行訓練では国土交通省航空局「無人航空機飛行マニュアル」に記載の基本的な操作技量に基づいた内容で操作訓練を行った。

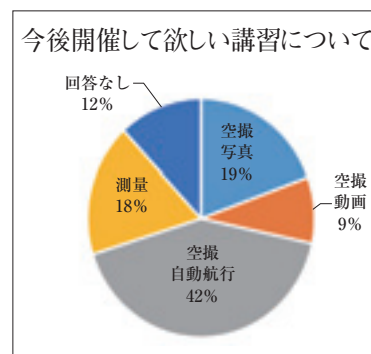
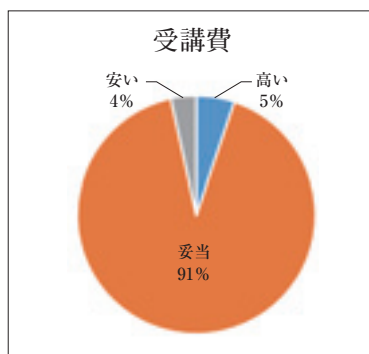
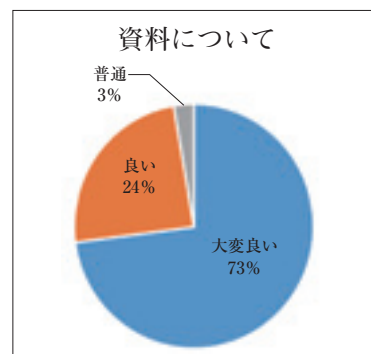
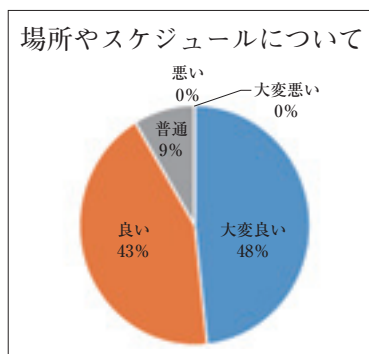
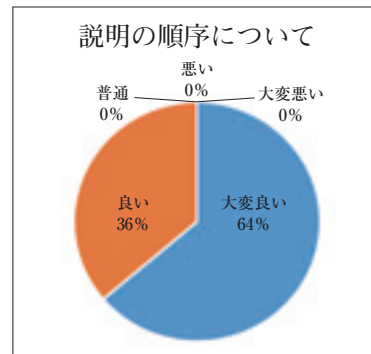
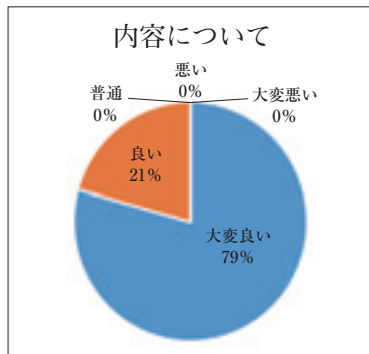


なお、来年度は4月から11月の期間で開催を予定（詳細は事務局室山まで）

回数	日付	参加者数
1	6/19・20	4
2	6/26・27	4
3	7/2・8/27	3
4	7/31・8/1	4
5	8/28・29	4
6	9/4・5	4
7	9/18・19	4
8	10/2・3	4
9	10/30・31	5
10	11/6・15	4
11	7/17・18	4
12	8/7・8	4
13	10/16・17	4
14	10/21・25	3
15	11/13・14	3
計		58名

※11回～15回は追加分

アンケート結果



- ・ 障害物の少ない場所だったので初心者でも安心して操縦することができた。
- ・ 機種の操縦感を比べることができたので購入の参考になった。
- ・ ドローンフライトの基礎技術が習得出来てよかったです。
- ・ 大変楽しい講習でした。仕事にも役立てることも考えて取り入れていきたいです。
- ・ 操作もちろんですが国交所への申請方法なども詳しくおそわれたので、よかったです。
- ・ 土曜日の講習ということで本当に助かりました。
- ・ 4人という少人数での開催が良かった。

建設技術研修所

◎第2回登録解体工事講習会の開催

第2回登録解体工事講習会を、11月5日(木)、石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催した。平成28年6月1日より改正建設業法が施行され、建設業許可の業種区分として「解体工事業」が新設さ

れたことから、以前は「とび・土木工事業」の許可で「解体工事」を施工していたものが、今後は、原則「解体工事業」の許可を取得した企業が「解体工事」を施工することとなる。改正に伴い、解体工事に係る営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者の資格要件が建設業法施行規則等で定められ、解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となるためには、登録解体工事講習の受講又は解体工事に係る実務経験が必要となることから、一般財団法人全国建設研修センターの協賛で実施している。本講習会の開催は8回目で、当日は72名が受講した。

◎「建設業経営講習会」の開催

建設業経営講習会を11月12日(木)に東日本建設業保証(株)、土木施工管理技士会との共催で石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催した。

講習会には主に管理部門長及び現場技術者53名が参加した。広報・研修委員会高田委員長、東日本保証株式会社の佐々木支店長の挨拶の後、(株)建設経営サービスの黒図茂雄氏から「総合評価の技術提案、高評価を得る作成手法と内容」について講演をいただいた。

講習では各社における技術提案を見直し、より高い評価で受注するためにもマンネリ化提案を脱出して、新たな目線で技術提案を作成する発想力と作成のポイントなど貴重なお話を聞くことが出来た。

終了後のアンケートでは、ほとんどの参加者から「提案項目の書き方がわかりやすく大変参考になった。」「とてもよかった。また総合評価の講習を聞きたいです。」などと高評価をいただき大変有意義な講習会となった。



黒図茂雄氏の講習

◎第42回測量コンテストの競技結果及び表彰式の開催

～地区協会対抗は(一社)金沢建設業協会が優勝、企業対抗は(株)北陸工建が優勝～

(一社)石川県測量設計業協会と石川県土木施工管理技士会との共催により、10月22日に金沢市ものづくり会館及び隣接のふれあいゴルフ広場内で開催された第42回測量コンテストの表彰式が11月25日、石川県建設総合センターでおこなわれた。

今回は、地区協会対抗競技に各地区協会代表9チーム、企業・高校生対抗競技に企業チーム13チームと金沢市立工業高校から3チームがそれぞれ参加した。競技種目は水準測量が実施され、基礎技術を競った。

審査の結果、地区協会対抗では、(一社)金沢建設業協会が3年ぶりの優勝となった。

企業・高校生対抗では、(株)北陸工建が昨年続き2年連続で優勝に輝いた。

表彰式では、高田直人広報・研修委員長から各入賞チーム選手に賞状、記念品授与の後、高田委員長が「水準は測量の原点。昨今はいろんな機械が出てきて省力化なども進んでいるが、もう一度原点を見つめなおして、地に足をつけて頑張っていってください。」と祝いの言葉を述べた。その後、共催の(一社)石川県測量設計業協会 松浦誠治((有)松浦測量) 審査委員長より「昨年から高校生も参加し、社会人の皆さんも刺激を受けているようだ。競技に挑むにあたって大切なのは、慌てず、所作をしっかりと、十分な確認をすること。その上でいかに機敏に行うかがポイントとなる。」との講評をいただいた。

受賞されたチームは次のとおり。

区 別	賞	所属及び企業名	受賞者名	
地区協会対抗	優 勝	(一社)金沢建設業協会	水口 和則	藤場 一慶
	準優勝	(一社)珠洲建設業協会	宮下 裕博	紙谷 欣市
	三 位	(一社)七尾鹿島建設業協会	袋井 亮一	山本 和義
企業・高校生対抗	優 勝	(株)北陸工建	矢花 大暉	岡本 銀河
	準優勝	(株)丸西組	阿慈知 信吾	谷川 晶太
	三 位	みづほ工業(株)	中村 烈	中川 寛太



地区協会対抗受賞者の皆さん
(中央の2名が優勝の金沢建設業協会チーム)



企業・高校生対抗受賞者のみなさん
(中央と向かって右隣の2名が優勝の北陸工建チーム)

石川県土木施工管理技士会だより

第3回正副会長会議の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 鶴山庄市)は、11月17日(火)に令和2年度第3回正副会長会議を石川県建設総合センターにて開催した。会議では、活動実施報告(中間)と下記の議題について審議を行った。

<審議内容>

○令和2年度実施報告(中間)及び今後の事業計画について

令和2年度事業活動状況(中間)について内容を確認した。今後の事業予定については下記事項について協議を行った。

①現場研修会の中止について

毎年開催している当会の現場研修会において、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとした。

②第3回役員会について

12月21日に金沢市内会議所にて開催することとした。

③北陸地方整備局と北陸三県技士会との意見交換会について

毎年開催されている意見交換会において、日程の確認と提案議題について議論した。日程については、令和3年3月2日に新潟県で開催予定であり、提案議題については第3回役員会にて審議することとした。



国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和2年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「建設業界での成長」

株式会社金沢舗道 中杉光稀

建設業界に入り二年が経過しました。

私の仕事は、道路の舗装工事をを行い自動車や歩行者などの安全を守る仕事です。高校を卒業して建設業に入り、初めて社会人として仕事をさせていただいた当時、何も分からず上司や先輩に言われたことを日々こなしていく毎日でした。

当時は、今自分が何のためにこの作業をしているのか全く分からなかったのですが、毎日仕事をしているうちに、仕事の大変さと大切さを学びました。

舗装業の仕事は、少しの油断が大きな事故に繋がりがり死亡する危険もあります。その中で毎日周囲の安全確認を怠らず、自分に任された業務に最後まで取り組みます。道路は一人の力だけでは完成させることはできず、機械を操作するオペレーターやその機械の手元作業員など様々な方の協力作業によって造られています。そして、完成した道路は月日が流れるにつれて劣化し、補修工事をしなければなりません。道路の劣化は、車や歩行者の方に危険を及ぼす恐れがあり、その危険を防ぐために、私たちの仕事は欠かせません。道路舗装の現場では、アスファルトの打設は百六十度の熱を放ち、真夏の現場は灼熱で肉体的にも過酷です。その中で、人員配置も熟慮のうえ、責任者が判断し朝礼時には体調を確認し作業に当たっていま

す。一つの道路を造ることはすごく大変で、思いやりがなければ良い仕事はできません。暑い日や寒い日でも、自分に任された業務は最後まで取り組まないと他の人が苦勞することになります。この仕事はいろんな人の手によって様々な苦勞の中で完成しているのだと感じました。

建設業では、災害発生時には迅速な復旧作業を行い、地域の安心・安全を守って社会に貢献し、経済の発展に深く貢献しています。

自分もその一員としてもっと成長していかなければならないと思いました。

この仕事に就いて舗装業という職業の重要性が分かりました。私が行っている業務は直接顧客の方には伝わりませんが、上司や先輩の指示の下で動いていた自分が、自分の力で考えて作業に取り組むことができ、少しずつ顧客の満足に繋がっていると感じます。

いろんな失敗をすることによって学び成長しているのだと思います。同じ失敗を繰り返さないように常に考えながら仕事をし、今後もその経験を活かして成長していこうと思っています。新入社員が入社し自分が教える立場になりました。当時の気持ちを思い出し、建設業の素晴らしさや楽しさを伝え、一緒に仕事をしていく仲間として共に成長していきたいと思っています。

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

令和2年度 「私たちの主張」応募作品の紹介

「建設業に携わる」

兼六建設株式会社 九澤省伍

私が建設業に興味を持った理由は、単純ではありますが、子供の頃から建物とはどうやって建てるのか、どんな人たちが建っているのか疑問に思っていたからです。そして、建築関係の学校を経て、現在、兼六建設株式会社の建築部で働いています。

入社して3年3か月になりますが、初めての現場では、何をすればいいのか分からずただ上司についていくだけでした。

自分自身、現場監督という職種については、職人に指示を出す人という大まかな印象しか抱いておらず少し侮っていました。しかし、実際には私の想像より何千倍も忙しく大変な仕事だということが分かりました。良かったこともたくさんあります。それは建物が完成して引き渡した時です。初めての現場で建物が完成した際に、施主さんからの「ありがとうございます」の一言がとても嬉しく感じました。建物が完成するまでは、とても辛い思いをたくさんして何度もくじけそうになったことがあったので、施主さんのその一言にとっても感動し、溜まっていた疲れが嘘のようになりました。これこそ建設業に就いて一番嬉しかったことです。そして、建設業に携わるということ常隣り合わせになってくるのが事故や災害です。自分も3年間で一度だけ「死」を感じた経験があります。外部足場上で作業している際に、足元の不注意で足場の隙間に足を落としてしまいました。不幸中の幸いで、片足分の隙間だったので体ごと落ちることはありませんでしたが、落ちた瞬間はとても冷や汗をかきました。その日以来、足元はもちろんのことですが、高所での安全帯の使用や脚立の適正使用など、特に気を付けて災害にならないようにしています。また、作業員の方々

にも不安全行動をしている場合には注意を促しています。これらのことは、現場監督として当たり前のことなのですが、この当たり前のことをしていない人が大勢いる状況なので、自分の現場では特に安全については確実に指摘をするように心がけています。

少しの気のゆるみが簡単に死へと直結するので、現場監督としては、安全管理が最重要の仕事だと思えます。そして安全管理以外に作業環境の管理も大事になってきます。例えば、ある作業エリアが終了して次の業者に渡す際に、前の作業員の出したごみや残材などが少しでも散乱していると、モチベーションが確実に落ちると思います。それは、現場内だけでなく、休憩所や倉庫、事務所においても同じことが言えます。まずは、清掃・風散養生の徹底を確実にすることが大事になってきます。現場が綺麗だと、作業員も作業が終わった際に自分たちもこのくらい綺麗に清掃をしなければいけないとの自覚が芽生え、常にきれいな状態を保つことが可能になっていきます。そういう現場になると、残材につまずき転倒・転落するといった事故を少しでも未然に防ぐことができます。そして、作業員一人一人のモチベーションアップにより作業効率が良くなり、工期に余裕が出てくるなど利点しかありません。建設業に携わるうえで、安全・環境について今一度見つめなおし、現場でのさらなるスキルアップをしていくことが大事になってきます。こういうことを自分の中で当たり前にしていき、最終目標として、石川県の象徴となる建物の建設に携われる人材になり、建設業をより盛り上げていけるように努力していきます。

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和2年分）

令和2年10月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	① 5	(12) 28	17	① (12) 50	① (17) 51	⑤ 510
小松監督署	9	(4) 10	1	(4) 20	(5) 25	202
七尾監督署	9	(4) 8	① 2	① (4) 19	① (6) 19	③ 104
穴水監督署	3	(1) 3	1	(1) 7	(1) 9	64
計	① 26	(21) 49	① 21	② (21) 96	② (29) 104	⑧ 880
前年同期	② 30	(29) 56	18	② (29) 104		⑤ 832

()内は木建工事 ○内は死亡者数

令和2年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
8月分	104	606	17.2%	1,423	2,428	58.6%	1,527	3,034	50.3%
9月分	92	167	55.1%	1,620	3,140	51.6%	1,712	3,307	51.8%
10月分	179	160	111.9%	1,032	4,877	21.2%	1,211	5,037	24.0%
年度累計	1,307	2,068	63.2%	10,520	16,638	63.2%	11,827	18,706	63.2%
30年度累計		2,219	58.9%		17,407	60.4%		19,626	60.3%
29年度累計		3,145	41.6%		20,735	50.7%		23,880	49.5%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%	令和2年度	令和元年度	%
8月分	4,649	4,761	97.6%	2,117	656	322.7%	6,766	5,417	124.9%
9月分	4,661	4,688	99.4%	1,132	564	200.7%	5,793	5,252	110.3%
10月分	4,589	3,722	123.3%	682	399	170.9%	5,271	4,121	127.9%
年度累計	29,381	29,948	98.1%	14,406	10,449	137.9%	43,787	40,397	108.4%
30年度累計		26,119	112.5%		7,939	181.5%		34,058	128.6%
29年度累計		23,421	125.4%		8,424	171.0%		31,845	137.5%

合 計（民間+官公庁）

	令和2年度	令和元年度	%		令和2年度	令和元年度	%
8月分	8,293	8,451	98.1%	年度累計	55,614	59,103	94.1%
9月分	7,505	8,559	87.7%	30年度累計		53,684	103.6%
10月分	6,482	9,158	70.8%	29年度累計		55,725	99.8%

会員の異動

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和2年12月行事予定

- 12月 3日(木) 建設業法順守に関する講習会
女性部会 現場見学会 (新石川県立図書館)
- 4日(金) 正副会長会議
青年海外協力隊を支援する会 正副会長会議
羽咋工業高校生との意見交換会(羽咋工業高校)
建築委員会 見学会 (鼠多門・国立工芸館)
- 8日(火) 土地改良委員会 中能登・奥能登農林 施策提案
(中能登10:00奥能登農林13:30)
土木委員会 施工対策部会 工事現地検討会班
長会議 (金沢市内会議所)
- 9日(水) 土地改良委員会 県央・石川・南加賀農林 施
策提案(県央11:00石川13:30南加賀農林15:00)
- 10日(木) 全国施工管理技士会連合会 事務局長・実務
担当者会議(web)
羽咋工業高校生 現場見学会(白山・小松地区)
- 14日(月) 金沢大学における産学官連携による特別講義
(金沢大学)
- 15日(火) 登録解体工事講習
品質管理監査会議 (KKRホテル金沢)
- 16日(水) 土木委員会 全体会議(県土木部との意見交換会)
(金沢東急ホテル)
- 17日(木) 小松工業高校建設科との意見交換会
令和2年度ブロック別加入履行推進支部事務担
当者会議(web)
- 18日(金) 金沢市立工業高校土木科との意見交換会
(金沢市立工業高校)
- 21日(月) 石川県景観審議会 計画部会 (石川県庁)
石川県土木施工管理技士会 役員会(金沢市内)
- 22日(火) 組合・協会 理事会 (ホテル日航金沢)
知事を囲む懇談会 (ホテル日航金沢)
- 23日(水) 青年海外協力隊を支援する会 要望活動
(石川県・金沢市)

- 25日(金) 事務局打合せ
- 28日(月) 仕事納め

令和3年1月以降の行事予定

- 令和3年
- 1月 4日(月) 県経済界新年互礼会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 22日(金) 土木委員会 新年会 (栗津温泉のとや)
- 28日(木) 建災防 安全祈願祭・新年会
(尾山神社・KKRホテル金沢)
- 2月 9日(火) 正副会長会議・常任理事会
建退共説明会 (七尾サンライフプラザ)
- 15日(月) 全建 総務委員会
- 16日(火) 北陸地方整備局との意見交換会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 3月 2日(火) 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会
との意見交換会 (新潟市)
- 4日(木) 正副会長会議
- 10日(水) 全国建産連 総務委員会
- 17日(水) 全建 協議員会 (東京 経団連会館)
- 25日(木) 全建 専務・事務局長会議 (東京 鉄鋼会館)
- 4月 5日(月) 正副会長会議
常任理事会

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- ①随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- ②投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- ③協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- ④謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161 (代) 内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 12月 1日(火) 監理技術者講習
- 2日(水) 建築部会:技術・安全委員会
土木部会:遠隔臨場現場見学会
- 8日(火) 青年委員会:情報発信セクション
協会・組合 理事会・懇親会
- 14日(月) 青年委員会:幹事会
- 16日(水) 建築部会:工事現場安全パトロール
建築部会:年末懇親会

- 17日(木) 災害時体制正副班長会議
- 18日(金) 青年委員会:市工生徒との意見交換会
(土木科)
- 22日(火) 知事を囲む懇談会
- 23日(水) 青年委員会:技術防災セクション

《お知らせ》

- 1月 8日(金) 青年委員会:デザインアワード表彰式
- 25日(月) 協会・組合 合同新年会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 12月11日(金) 協会役員会
 16日(水) 建災防加賀分会 労働災害防止講習会
 17日(木) 小松工業高校2年生への建設業ガイダンス
 22日(火) 知事を囲む懇談会

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 12月10日(木) 小松能美農林安全対策協議会パトロール
 15日(火) キャリア教育(松陽中学校)
 17日(木) 小松工業高校2年生への建設業ガイダンス
 18日(金) キャリア教育(板津中学校)
 22日(火) 知事を囲む懇談会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 12月18日(金) 役員会
 22日(火) 知事を囲む懇談会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 12月22日(火) 知事を囲む懇談会

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会
 22日(火) 知事を囲む懇談会

《お知らせ》

- 2月下旬 役員会
 3月 4日(木) 監理技術者講習会
 下旬 役員会

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(金) 土木委員会・講演会
 建築委員会定例会
 22日(火) 知事を囲む懇談会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 12月 7日(月) ハローワーク輪島雇用対策推進協議会
 輪島・穴水・門前地域労働力活性化推進会議
 22日(火) 知事を囲む懇談会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 12月 4日(金) 理事会
 22日(火) 知事を囲む懇談会

関係機関からのお知らせ

石川労働局より

労働保険に加入していますか？

事業主のみなさまへ

「急な雨でも、労働者を守る。」

労働者（パートタイマー、アルバイトを含む。）を一人でも雇っている事業主は、労働保険に加入することが義務づけられています（農林水産の事業の一部を除く。）。

しかしながら、現在においても小規模零細事業を中心に、なお相当数の未手続事業が存在しているとみられ、このことは、労働保険制度の健全な運営、費用の公平負担、労働者の福祉の向上等の観点から極めて重要な課題となっており、早急な未手続事業の解消が求められています。

このため、厚生労働省・石川労働局では、労働保険の未手続事業一掃の取り組みとして、各種事業主団体への制度周知や個別事業主への加入勧奨等の取り組みを行っております。

また、自主的に保険関係の成立（加入）手続を取らない事業主に対しては、職権により成立手続の実施を行い、遡って労働保険料を徴収するほか、併せて追徴金を課す処分を行うこととしています。

まだ加入手続を行っていない事業主の方は、まずは、石川労働局又は最寄りの労働基準監督署・ハローワークへご相談下さい。

※ 未手続中に労働災害（通勤災害を含む）が発生した場合、保険給付に要した費用の全部又は一部を事業主から徴収する処分を受ける場合があります。

○詳しくは、石川労働局 労働保険徴収室（☎076-265-4422）へお問い合わせ下さい。

建退共より

共済手帳の更新手続きが一部変わります!

建退共の掛金納付方法が、これまでの証紙貼付による納付方式(証紙貼付方式)と、新たに電子申請による納付方式(電子申請方式)の2種類となり、事業主(共済契約者)が選択できるようになりました。

交付された建設業退職金共済手帳(以下「手帳」という。)は両方の掛金納付方式に対応しており、手帳の更新手続きについては、従来の「証紙貼付満了による更新手続き」のほか、「次回更新時期到来による更新手続き」が新たに追加されました。

電子申請方式による掛金の納付は就労実績報告のつど、把握・確認されますが、この新しい手続きにより、証紙貼付方式による掛金の納付分についても、証紙貼付満了を待たずに定期的に把握・確認できるようになり、被共済者への退職金の確実なお支払いにつながるものとなります。

つきましては、下記のいずれかに該当する場合は、手帳の更新手続き(裏面参照)を行ってください。

I 250日分の証紙を貼り終えた場合

従来通りの更新手続きです。

証紙貼付方式により掛金を納付し、250日分(掛金免除欄含む)の証紙を貼り終えた場合は、更新手続きを行ってください。

II 手帳の表紙に記載されている「次回更新時期」が到来した場合

新たに追加された更新手続きです。

令和2年11月以降に建退共が発行した手帳の表紙には、「次回更新時期」が記載されています。「次回更新時期」が到来したときは、250日分の証紙を貼り終えていない場合でも、更新手続きを行ってください。

なお、「次回更新時期」を過ぎた場合でも、掛金納付実績が失効することはありませんが、早めに手続きを行ってください。

<手帳のイメージ>



手帳交付日です。

手帳の左下に「次回更新時期」が記載されます。

Ⅲ 「次回更新時期」が記載されていない 手帳の取扱い

令和2年10月30日以前に交付された手帳には「次回更新時期」が記載されていないので、下記により手続きを行ってください。

①電子申請方式を選択している場合

電子申請利用開始後2年を目途に「手帳更新手続きのお願い」を電子申請専用サイトを通じてお知らせしますので、該当する被共済者全ての手帳について、更新手続きを行ってください。

②証紙貼付方式を選択している場合

交付日から2年を経過した手帳については、適宜更新手続きを行ってください。

なお、交付日から3年を経過した手帳のうち、退職金の請求権がある場合は、長期未更新者として、直近の手帳更新を行った共済契約者に調査票を送付いたします。

★手帳更新手続き方法

「共済手帳更新申請書(様式第005号)」または「掛金助成手帳更新申請書(様式第006号)」に必要事項を記入し、手帳を添えて、各都道府県支部に提出してください。手続き完了後、建退共より新しい手帳及び副本(A4)を発行しますので、被共済者にお渡しください。

ただし、原則として、交付日から9カ月を超えないと手帳の更新はできません。

※既に会社を退職された方の手帳はご本人にお渡しいただきますが、行方が分からない方の手帳については、「共済手帳返納届」または「掛金助成手帳返納届」に必要事項を記入し、各都道府県支部で返納手続きを行ってください。

※更新申請書等の各様式は、建退共ホームページよりダウンロード可能です。

問い合わせ先

詳しいことを知りたいときは、各都道府県支部または建退共本部にお問い合わせください。

【建退共本部(更新関係)】 03(6731)2850

【建退共ホームページURL】 <http://kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>

★電子申請方式とは・・・

月に一度、共済契約者が就労日数を電子申請専用サイトにより報告し、あらかじめページーまたは口座振替でご購入いただいた退職金ポイントを就労日数に応じて掛金として充当し、納める方式です。

令和2年10月からの半年間はシステム運用に万全を期すため、ご協力いただいた元請企業のみで試行的に実施しておりますが、令和3年3月より全面的に受付を開始する予定です。